

総合 | 環境貢献型事業の拡大

方針・考え方

環境と企業収益の両立を目指し、 環境配慮型商品・サービスの開発・普及を推進

当社グループでは「環境」は事業機会になり得ると捉え、「事業を通じて環境に貢献する」「環境を各事業の付加価値にする」という考え方をもとに、「環境貢献型事業の売上高」を重要管理指標としています。各社・各事業部ごとに環境配慮型商品を定義し、その売上高目標を設定、方針や施策を策定して積極的に取り組んでいます。

□ P136 環境データ 環境貢献型事業売上高

■環境貢献型事業の定義（エンドレス グリーン プログラム 2026の場合）

事業		定義	
環境 配慮型 建築	戸建住宅	用途別BEI※基準値を満たす建築物	
	賃貸住宅	用途	BEI値
	マンション	住宅	0.8以下
	商業・事業施設	ホテル等・病院等・百貨店等・飲食店等・集会所等 事務所等・学校等・工場等	0.7以下 0.6以下
環境エネルギー		電力小売事業、再エネ電力売電事業、PPA事業、再エネ・省エネ設備請負工事、省エネソリューション、非化石証書仲介	
住宅 ストック	リフォーム 買取販売	太陽光発電、蓄電池、省エネリフォーム リノベーションによる中古住宅再販	
リース		省エネ設備リース、電気自動車リース	
環境緑化		緑化事業全般、Park-PFI事業	
その他		LED照明販売、省エネエアコン販売、遮光カーテン販売 など	

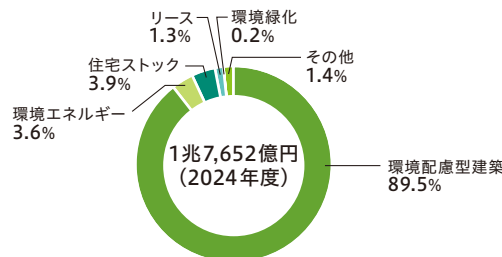
※ BEI (Building Energy Index) とは、エネルギー消費性能計算プログラムに基づく、基準建築物と比較した時の設計建築物の一次エネルギー消費量の比率のこと

主な取り組み

2024年度は、全グループ売上高の約29%にあたる1兆5,500億円を環境貢献型事業の売上高目標に設定し、環境エネルギー事業をはじめ各社・各事業での取り組みを進めました。その結果、環境貢献型事業売上高は、1兆7,652億円（売

上高の約32.5%）となり、目標を達成することができました。

■環境貢献型事業売上高



（戸建・賃貸・マンション）ZEH・ZEH-Mの普及拡大

2024年度は、前年度と同様に各部門で、建築物省エネ法に基づく建築物エネルギー消費性能誘導基準（用途別に定められるBEI）をクリアする建築物の普及を拡大しました。

戸建住宅では、主力商品である「xevo Σ」や「xevo GranWood」によるZEHの普及拡大を通じてBEI0.8以下※の建物を提供しました。

賃貸住宅およびマンションでは、賃貸住宅での「TORISIA」、マンションでの「プレミスト」によるZEH-Mの普及拡大を通じて住棟全体でBEI0.8以下※となる建築物を提供しました。

今後も、各分野でのZEH・ZEH-Mの普及拡大を通じて環境配慮型建築の提供を推進していきます。

※再生可能エネルギーを除く

□ P021 （戸建住宅）ZEHの普及拡大を推進

P021 （賃貸住宅・分譲マンション）ZEH-Mの推進

（商業・事業施設）環境配慮型建築の普及拡大

当社は、多種多様な用途のZEB施工事例のWebサイトでの公開や、ZEBパンフレットなどを活用してZEBを販売・展開しています。また、社内では事業所ごとにZEB設計の勉強会を実施することで、お客さまへの省エネ設計建物の提案

強化につなげています。これらの取り組みの結果、2024年度は当社の商業・事業施設における環境配慮型建築の割合が80.5%となりました。

さらに、環境配慮型建築の優位性や補助金活用実績をお客さまに訴求すべく、一般財団法人省エネルギーセンターと協働してセミナーを開催。当社が設計・施工した建物を活用して見学会や相談会も実施しています。

□ P022 （商業・事業施設）セミナー開催および、ZEBの実践と技術力向上

（環境エネルギー）「オフサイトPPA事業」を拡大

当社は、カーボンニュートラルの実現に向け、企業の取り組みが加速するなか、各社の再生可能エネルギー導入をサポートするオフサイトPPA※1事業を強化しています。

当社は、第7次中期経営計画において、再生可能エネルギー供給施設の累計発電出力を1,550MW、そのうちオフサイトPPAの発電出力は600MWを目標としています。

その取り組みの一つとして、当社は、阪神電気鉄道株式会社および関西電力株式会社とオフサイトPPA契約を締結しました。本契約は、当社が開発した太陽光発電設備で発電した電力を関西電力株式会社が調達し、阪神電気鉄道株式会社が運営する阪神甲子園球場に供給するものです。当社が発電事業者として太陽光発電所「DREAM Solar 兵庫相生若狹野」（兵庫県）を開発し、2025年3月から運営しています。当発電所で発電する電力と非化石証書※2を合わせて関西電力株式会社が当社から購入し、阪神甲子園球場への電力供給を20年間にわたり行います。

※1 発電事業者が、需要場所から遠隔の場所に太陽光発電設備を設置し、送電線を通して需要家に電気を供給するモデルのこと

※2 再生可能エネルギーなどの非化石電源から発電された電力の「環境価値」を証書化したもの

WEB ➔ 「オフサイトPPA事業」を拡大

総合 | 環境貢献型事業の拡大

(環境緑化) 都市公園の質を向上

当社グループの大和リースは、環境緑化事業を展開しています。近年、建物の屋上や壁面のみならず、建物の屋内、外構にも事業範囲を広げており、総合的な緑化事業を行っています。

また、都市公園における公民連携事業も推進しています。Park-PFIや指定管理者制度に積極的に参入し、民間事業者のノウハウを活かして飲食店・売店などの公園施設を設置することで、賑わいが生まれるような公園の管理・運営を行っており、32件^{*}の公園関連事業を展開しています。

^{*}大和リースが、代表企業として実施している案件と協力企業として実施している案件の合計数(2024年5月時点)



花博記念公園鶴見緑地(大阪府)

Topics

非住宅の木造・木質化を推進 — Future with Wood —

当社は、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた新たな重点領域の一つとして「木造・木質建築事業」を掲げ、2025年4月より「Future with Wood推進部」を立ち上げ、事業横断で木造・木質化への取り組みを推進しています。

・環境への配慮

建築物の木造・木質化によって、鉄骨造等と比較してGHG排出量の削減に寄与します。また、環境等に配慮した持続可能な木材を調達することで、生物多様性保全に貢献します。

・当社の強み

当社は、鉄骨造の建物を中心にてがけてきました。その実績や知見を活かして、木と鉄骨を適材適所で組み合わせた建設に取り組むことで、他社に対する独自の強みを築いていきます。

拘束材に集成材を利用した「木鋼ハイブリッドブレース」や、木材を被覆材に使用した木鋼ハイブリッド耐火柱「Dkitto-Column」の開発により、中高層建築物での木材利用を可能としています。「Dkitto-Column」は、軽量で高強度の鋼材と炭素固定効果がある木材を採用することにより、従来の柱材^{※1}と比較^{※2}して、1本あたりの部材製造時に生じるCO₂排出量を117kg削減^{※3}できます。

^{※1} 構造躯体「鉄骨造柱」と耐火被覆材「吹付けロックウール」、下地材「軽量鉄骨ならびに石膏ボード」、仕上げ材「ビニルクロス」で構成する柱材のこと。

^{※2} 9階建ての1階に使用する柱に要求される1.5時間耐火性能を満たすための従来の柱材と、「Dkitto-Column」による比較。(従来の柱は柱高さ3m、柱外角寸法815mmで、「Dkitto-Column」は柱高さ3m、柱外角寸法710mmのもの)

^{※3} 設計仕様により削減幅は異なる。



➤ 木鋼ハイブリッドブレース

➤ 木鋼ハイブリッド耐火柱「Dkitto-Column」

・農林水産省と協定を締結

2024年12月には、建築物の木造・木質化を推進することにより、カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを促進する「カーボンニュートラルの実現に貢献する建築物木材利用促進協定」を農林水産省と締結しました。

・建築事例

当社では、事務所・店舗・介護施設などの建物において、お客さまに木造・木質化を提案していきます。2024年に竣工した「株式会社タカギ 新本社工場 Café & Marché」(福岡県)は、「みんなが楽しく働ける職場を」という想いが込められた食堂棟です。大きな吹き抜けや開口を取り入れ、明るく開放的な木質空間を実現しました。訪れる人のウェルビーイングと、森林資源の有効活用に貢献します。



株式会社タカギ 新本社工場 Café & Marché



➤ Future with Wood (建築物の木造・木質化)